

## あわら市改造計画 ～その3～

(平成 31 年のあわら市長選立候補まで 2 か月毎に発行予定)

平成 29 年 5 月 8 日 (月)

加納病院院長 中川 智和

今回は、市政における市民の代表者を選ぶ市会議員選挙 (今年 6 月 18 日 (日)) について述べたいと思います。皆さん、投票するときに、自分の区が推薦しているからとか、頼まれたからとか、名前を連呼する候補、握手を一生懸命する候補になんとか投票していませんか? 選挙で得票する事こそが重要である民主主義ではそういった活動は不可避である事は理解できます。しかし、あわら市の人口が毎年 300~400 人減っており、近く新幹線も通るといふ事を考えると、今は、平時ではありません。緊急時です。本当にあわら市の将来 (特に人口を増やす事) について合理的に考え、効果的に頑張る人を選ばなくてははいけません。やりたい人ではなく、やってほしい人を選ばなくてはなりません。何といても市議は、みなさんの市政上の代表者なのですから。「どうせ変わらないさ」とか「市議に立候補する人は、、、」とか傍観者的な白けた考えは捨てて、あわら市を良くするために熱く市政に関わっていきましょう。できれば、皆さんの中から新しい立候補者が出る事が、より望ましいとも思います。そうでなければ、本来自分の生活を構造的に改善する、合理的なものにする手段であるはずの市政が、いつまでたっても一部の人が行う別世界のものとなってしまいます。

本来は、少なくとも政策議論をできる、さらには自分に意見が近い候補へ投票すべきだと考えます。そこで、私は、今回、各市議さんに、アンケートを配りました (但し現職 18 人にでするので、もしその他立候補者がいるようなら教えて下さい)。すべての生データは、受付に言っていただければ閲覧できるようになっています。勿論、今回のアンケート完全とは言えないと思いますが、少なくとも一助にはなるのではと考えます。真剣に誰に投票しようかと考えたら、このようなアンケートを行い、なるべく多くの人に知らせる事は意味ある事だと私は信じています。このようなアンケートに回答する事は面倒臭い上に、得票するには明確にはしない方が敵ができず得と考えることもあり得ると思うので、今回、ほとんどの議員さんは回答してこないだろうと事前に予想していましたが、予想通り 4 名のみの回答で、残り 14 名の方からは、アンケート自体に対する不満も含め、様々な理由はあったとは思いますが、結果的にこのような純粋な政策マターに関する回答が得る事が出来ずに、本当に残念です。回答頂けなかった 14 名の市会議員さんの考えは、少なくとも今回のアンケートを通しては理解する事が出来ないのですから。回答して頂いた 4 人の勇気ある議員さん方、本当に有難うございました。私は、このようなアンケートに答えて頂いた政策論議をして頂ける方が 1 人でも多く当選することを願います。その結果、あわら市政は、改善されていくと考えます。皆さんも、この結果を投票する際の参考にして頂き、是非、何となくではなく、自分で考えて、投票を行って下さい。

(回答を頂いた4名の議員。本当に有難うございました。回答を頂いた順。)

八木 秀雄 議員  
山田 重喜 議員  
山川 知一郎 議員  
向山 信博 議員

(尚、4月中のポストへの投函をお願い致しましたが、5月8日(月)までに、残りの以下の14人の各議員さんからは、残念ながら回答を頂けませんでした。市役所名簿順。)

仁佐 一三 議員  
山本 篤 議員  
平野 時雄 議員  
毛利 純雄 議員  
吉田 太一 議員  
森 之継 議員  
杉本 隆洋 議員  
三上 薫 議員  
笹原 幸信 議員  
北島 登 議員  
坪田 正武 議員  
卯目ひろみ 議員  
山川 豊 議員  
杉田 剛 議員

アンケートは、私が前号まで示したあわら市の改善計画に沿って以下の11項目(15個の○×質問と、2個の記述質問)について行いました。

- ① 坂井市との合併
- ② 新幹線開通に伴い芦原温泉駅に映画館、レストラン、モールの併設
- ③ 子育て
- ④ 農業の会社による大規模化
- ⑤ 祭(金津祭りの廃止、竹田川屋形船・屋台祭の新設)
- ⑥ 上下水道の民営化
- ⑦ 小中学校の統合
- ⑧ 議会を夜や日祭日に行う(働いている人も議員になれるように)
- ⑨ 132ある区の統廃合
- ⑩ 予算削減項目の提言
- ⑪ その他行いたいこと

アンケート結果のまとめを以下に示します。回答をいただいたという事だけでも、有難く思います。重ねて御礼申し上げます。回答を頂いた順に記載します。

<八木秀雄議員>

- ① ○ (合併賛成) ②△ (駅開発はまあ賛成だが、JR と越鉄を繋ぐのは反対) ③△ (4歳以下の教育費無料化は賛成だが、学童を 19 時まで学校があずかる事には反対) ④△ (会社による農業経営は、就農者にメリットがあれば賛成) ⑤× (金津祭りは存続。竹田川新祭については無回答) ⑥○ (上下水道の民営化に賛成) ⑦× (小中学校の統合には反対) ⑧× (仕事をしながらでは議員活動が幅狭くなり周りが見えなくなる) ⑨○ (区の統廃合に賛成) ⑩ 予算の削減には、市民の活性化が必要 ⑪ 議員がやるべきことをやる

→私の提言への賛成は、6/15(40%)でした。

真っ先にアンケートの返信を頂きました。学童は基本的に家庭で見る、金津祭りは伝統があるため存続、小中学校の統合には反対といった部分では、家庭と伝統を重んじられる傾向があるように思いました。坂井市等との合併には賛成されました。議員活動については、他職業との兼業に否定的な意見でした。

<山田重喜議員>

- ① × (合併は時期尚早) ②○ (駅開発も越鉄の乗り入れにも賛成だが、財政的に疑問) ③△ (教育費の無料化には反対、学童を 19 時まであずかる事には賛成) ④○ (農業の会社経営には賛成) ⑤△ (金津祭りは存続、竹田川新祭りも賛成) ⑥△ (上下水道の民営化は、将来的には賛成だが今は反対) ⑦× (小中学校の統合は地元意見の賛成があれば賛成) ⑧× (兼務では集中力にかける) ⑨○ (特に限界集落に関しては合併すべき) ⑩国県の補助事業に対して必ずしも市が補助金を出すべきではないと思う) ⑪ 無回答

→私の提言への賛成は、7/15(47%)でした。

2 番目に、しかも速達で回答を頂きました。改革的な提言にも賛成していただきました。JR と越鉄の乗り入れ、教育費の無料化等では、財政的な疑問も呈されました点では現実的な印象でした。議員の他職種との兼務には否定的でした。

<山川知一郎議員>

- ① × (合併すると周辺部の過疎化が進む) ②○ (JR 駅の開発も、JR と越鉄の接続も賛成) ③○ (4 歳以下の教育の無料化、スクールバス、19 時までの児童預かりすべて賛成) ④× (農業の会社経営は、農地の保全、食の安全上不安) ⑤△ (金津祭、竹田川祭りとも賛成) ⑥× (料金が疑問) ⑦× (学校は地域の拠点) ⑧○ (夕方、日祭日の議会開催に賛成) ⑨× (区の統廃合には反対) ⑩街づくり関連事業に無駄あり ⑪介護施設の利用料金を下げる。学校給食の無料化。デマンドタクシー以外の交通の充実。

→私の提言への賛成は、8/15(53%)でした。

アンケート結果を、わざわざ加納病院まで持参頂きました。各質問に丁寧な意見を頂きました。全体的に市民のためになる事は何でもしようという優しさを感じました。あとは、財政上その分削減する部分も考えていく必要があるのだと思います。夕方や日祭日の議会開催は賛成されました。高齢者への交通対策は私も必要と考えており、デマンドの代わりに、例えば 70 歳以上の方には市内移動は無料となるタクシーを数台置くというのは、数千万円の予算(デマンドの倍の予算)でできると思います。私中川は、自民党员なのですが、共産党議員である山川さんとは意見が一致するところも多く感じました。あとは、予算の制約の中で優先順位をつけることが難しいのだろうと思います。

<向山信博議員>

- ① × (合併する根拠がわからない) ②△ (駅の開発は賛成。JR と越鉄の乗り入れは運営が無理) ③△ (4 歳以下の教育費無料化は賛成。中学生は 19 時まであずかる必要はない) ④○ (農業者の高齢化により必要) ⑤△ (金津祭りは存続。竹田川祭りの形態がわからない) ⑥× (上水道は命にかかわる事であり民営化は反対。下水道についてはどちらとも言えない) ⑦△ (小学校の統合は、地域の核となっており反対。中学校は部活の選択肢を広げる上でも賛成) ⑧○ (夕方や日祭日の議会開催は賛成) ⑨× (各区の運営方法や財政上、難しい) ⑩予算の削減は市民の要求によって事業ごとに判断すべきで当初から削減すべきものを考えるのは難しい。 ⑪健康管理を市がこれまで以上に図っていくべき

→私の提言への賛成は、6.5/15(43%)でした。アンケート結果を、わざわざ加納病院まで持参頂きました。全体的に現実的な判断をされる傾向を感じました。夕方や日祭日の議会開催には賛成されました。

回答を頂いた議員さん、本当にありがとうございました。民主主義ですから、選挙で自分の名前を書いてもらうことが大事で、それは本当に難しいことだと思います。挨拶、握手等にて自分の名前を覚えてもらうことは選挙を行う上で大事なことだとは思いますが、やはり、何をやりたいのかという政策論はより重要なことだと確信しています。今回、アンケートの項目も私が選定したもので、他の議論の余地もあったかもしれませんが、このような質問に答えて頂いた議員さんは、私の意見への賛否はともかく、回答を頂けなかった議員さんに比べ、政策議論をしようという意思を感じ、是非そういった方が一人でも多く選ばれる事を願っています。この読者も、惰性で投票するのではなく、政策をきちんと述べる候補者に投票して頂くことを願います。

さて、各質問項目について私の意見を述べます。詳しく書くと何ページにもなってしまうので、なるべく簡潔に書きますが、読んで疑問がある方は、また追って私に質問して下さい。時間の許す限り議論させていただきます。

#### ① 坂井市との合併について

賛成の議員さんは少数派の様です。合併する意味は分割損の最小化と財政規模の拡大です。あわら市は3万人弱で、現時点での本来の市の人口規模を満たしていません。財政規模的には、少なくとも5万人以上、できれば30万人以上の規模とし、各地域に分割損のない効率的な投資をすべきだと思います。私個人は、福井市より北の嶺北をすべて合併して嶺北市（と嶺南市）として福井県を無くして、日本は大きな市（30～50万人規模）と国の2段階にすればいいと思っています。自分が病院という事業を行っていると、公的機関が水平的、垂直的にたくさんある事の非効率性と責任の所在の不明確性は日本全体の活性を低下させていると思います。

#### ② 新幹線開通に伴う事業

あわらには、大きな商業施設も、映画館も、ファーストフード店也没有。秋吉の大盛況をみればまだまだ需要に対する供給は少ないと思います。車で行ける範囲には、エルパ、ワイプラザ、イオン、プラント、アミ等があります。でも、車を運転できない高校生以下や、高齢者の方が電車で行ける駅には映画館、商業施設等がありません。そこで、今回、あわら駅に新幹線が来るのですから、確かに財政上は難しいのだとは思いますが、いろいろ知恵をしばって大きな商業施設も、映画館も、ファーストフード店を何としても作るべきです。さらに、あわら温泉の旅館、東尋坊、北潟等が全て栄えるように、JRと越鉄の乗り入れも何とか実現すべきです。100年に一回のチャンスです。時間がありません。

あと、北潟は、風光明媚で、交通の要所でもあると思います。例えば福井大学キャンパスを持って来る事が出来たら本当に最高なのですが、、、。人口、特に若い人の人口が増えると思います。

### ③ 子育て環境

私の病院でもそうですが、学童を迎えに行くために早く仕事を切り上げなくてはならない若い人がたくさんいます。中学生も含め、学校で19時位まで預かり、遠い学童には全てスクールバスを提供すれば、働く可能性のある父母の選択肢が増えます。また、人材は出生に関係なく排出すべきで、貧富、男女に関係なくすべての人が教育を受け、自分の才能にあった職業に就くべきだと思います。そのためには、全ての教育費は無料とすべきです。現在あわら市は5歳～15歳の教育費はほぼ無料化されていると思いますが、さらに、4歳以下、16歳以上の教育費も無料とすべきだと思います。また、19時まで預かることにより、男女関係なく、自分に合った仕事を全うするチャンスを得るべきです。結果的に若い人の定着にも寄与し、人口増加にも寄与すると思います。（但し、教育機会の均等の観点から学童の教育費は無料にすべきだと思いますが、本来、生活する上で必要となる給食費や、高齢者の介護費用はある程度自己負担（受益者負担）する事が合理的のように思います。実際、医療介護を経営している私としては、国の人口が増え税収が増えない限り、これ以上介護費用を公費で補うという事は非現実的だと思います。）

### ④ 農業

日本の農業は、カロリーベースの自給率が30%台なのに、減反政策などを行っています。現在の農家の形態を何とか維持しようとしています。私は、あわら市全体くらいの規模で農業会社を設立し、各農家の農地を会社という株のような位置付けとし、会社が社員（耕作員）を採用し、大規模に運営管理すべきだと思います。規模効果により投資効率は上がりますし、人口増加にもつながると思います。

### ⑤ 祭

金津祭りは、今まで私個人は少なくとも数百人にモニターしましたが、その地域（区）の有力者の男性や、祭りを楽しむだけの帰省者は賛成、一般の男性、および女性は全般的に大変だという感じが強く、反対する人が多いような気がしていますが、みなさん公式には反対しづらい雰囲気があるように思えたため、あえて争点としました。金津神社の神事としての行事は残し、今の山車による行事はみなさんの反対が多ければ廃止してもいいのではと考えます。金津には竹田川があります。これは丸岡から流れてきています。普段は水郷としての交通の開発はどうでしょう。その上で、屋形船、屋台祭りだと、業者運営で、市民は楽しむ部分が増えるため、より負荷の少ない楽しいものになるのではと考えます。

### ⑥ 上下水道

現在、上下水道の赤字は年間数億円となっています。上水道は、あわら市では数事業者が市の指導の下、工事が割り振られ、自由競争ではありません。私の病院の上水道が破損したときには、市が指定した業者しか工事を行えないという事で、工事が立て込んでいたのか約

1 か月間待たされ、水が漏れたままでした。その料金は市が持つとの事でしたが、これが民間だったらこんな対応になるのでしょうか？ 安全性の議論にもなりますが、民間が安全ではないという考えは必ずしも当たっていないと思います。あわらの業者で施工者が明らかならば、そんな無責任なことではできないはずで。上下水道は、効率性、コスト上、民営化すべきだと考えます。

#### ⑦ 小中学校の統廃合

学校も近くにあった方がいいと考えるのは安心だからでしょうか。小中学校の統廃合はなかなか地元の賛成を得られづらいようです。しかし、そのような要求と予算の合理的配分との兼ね合いはあるはずで。全国平均と比べても福井、特にあわらの小学校は、1校当たりの学童数が少ない。また、教員、施設等の分割損が生る上に、学童も接する友人も少なく、様々な個性に接するチャンスが減り、また健全な競争原理も働きづらいという負の部分もあるように思います。よって、ある程度の小中学校の統廃合はすべきなのではとも思います。それにより、先に述べた夕方7時まで学童をみる、全ての遠い学童（2km くらいが目安でしょうか？）にはスクールバスを提供する予算配分もできると思います。（今回のアンケートですべての学童にスクールバスを、というのは、「すべての遠い学童へ」の意味でした。もちろん、歩ける学童にスクールバスは必要ないと思います。質問の仕方があいまいで申し訳ありません。）

#### ⑧ 夕方、日祭日の議会開催について

これは私個人としては是非実現したいと思っています。市議会は国会と異なり、実際的には議員立法案件は少ないのではないのでしょうか。その役割は、市民の代表として意見を述べ、賛否を表明するという事ではないのでしょうか？だとすると、ここで議論している様々な項目について、市議会がより市民の意見を反映するためには、本来老若男女による議員構成が望ましく、そのためには仕事を持っている世代も議員になり易くする仕組みは、是非必要だと考えます。様々な仕事を現役で行っている議員の意見は今後必ず必要であり、議員職が専業である必要は必ずしもないと思います。あと、現在の議会開催時間では、兼業が難しく、落選した場合の生活基盤の確保も難しいのではないのでしょうか。あるいは、落選に躊躇して当選の確率が高い候補（例えば区が推薦する候補）しか立候補しなくなるのではないのでしょうか。以上 2 点から夕方、日祭日の議会開催は、市民全体の利益のために必要だと考えます。

#### ⑨ 132ある区の統合

区というのは、市政にて連絡、モニターを行う上で必要であると考えられていると思います。しかし、高々数千戸のあわら市で、市が直接これらの事を行うことは本当に不可能なのではないでしょうか？上記で述べたような金津祭りが廃止になったとしたら、区は必要ないので

はないかとも考えるのですが、極論でしょうか。例えば坂井市と合併して、新しい市（例えば北福井市）となったら、北福井市金津町、芦原町、丸岡町、三国町、坂井町、春江町という住所を復活し、その規模位のまとまりは必要かもしれませんが、132にも細分化された区は必要あるかどうかは、議論が必要だと思います。

#### ⑩ 予算の削減部分

これに関しては、述べるほど、得票が減っていくとは思いますが。私は市の予算を見させていただいたところでは、大きな削減部分は、上下水道と小中学校だと思いました。しかし、うちの病院の患者さんからは、以前からこれを言うと、反発が大きいので言わない方がいいとの意見も頂きました。議員の皆さんからは是非聞きたいところですが、勇気がいるところだとは思いますが。今回も具体的な提案はほとんどありませんでしたが、このアンケートで書いているようなことを実現しようとしたら、予算を削減すべき部分も議論していかななくてはならないのだらうと思います。

#### ⑪ その他行いたいこと

私が考えている上記項目以外で、行うべき事をお聞きしましたが、これについても、具体的な提案はあまり頂けませんでした。もっと広く市民からの議論を闊達にして、住みたくなる（人口が増える）あわら市にしたいなと思います。老若男女の市政への参加を期待します。